

結婚式費用の負担方法をスムーズに決める 16のチェックリスト

【手順1】ご祝儀をシミュレーションする

- ・招待したいゲストを全て洗い出せているか
- ・親族/上司/友人同僚の3つのカテゴリーに分けているか
- ・ゲスト人数に小学生以下のお子様を含んでいないか
※ご祝儀は基本的にフルコース料理を食べるゲストから頂くのが一般的だからです。
- ・夫婦で招待するゲストは1カウントで計算しているか
※夫婦や家族で招待する場合は、まとめてご祝儀を用意される方が多いからです。

【手順2】お互いの貯金額を確認する

- ・カテゴリーごとのご祝儀平均額を使用し、シミュレーションしているか
- ・今ある貯金額だけではなく、これから結婚式までに貯められそうな貯金額も計算しているか
- ・結婚式を開催するエリア外からのゲストは何名いるか
- ・それぞれの遠方ゲストの交通費片道分がいくらか調べ、お車代のシミュレーションを行っているか
- ・結婚式の前後で出費が必要なイベントを洗い出せているか
- ・どこにいくら使っていくか、貯金の配分を決定したか

【手順3】実際に見積もりを出す

- ・それぞれの見積もりに含まれているアイテムは同じ内容になっているか
- ・料理やドリンクは後でランクアップしなくていいような内容になっているか
- ・見積もり額からご祝儀額をひき、自己負担額を確認しているか
- ・自己負担額が予算を大幅に超える非現実的な金額になっていないか

【手順4】ふたりで負担割合を決定する

【手順5】必要があれば両親に援助金のお願いをする

- ・いくら援助してほしいか明確に伝えられるか
- ・ふたりからきちんとお願いする場を設けているか